



## 2020年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年6月6日

上場会社名 スバル興業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9632 URL https://subaru-kougyou.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永田 泉治  
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 松丸 光成 (TEL) (03)3213-2861  
 四半期報告書提出予定日 2019年6月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年1月期第1四半期の連結業績(2019年2月1日~2019年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第1四半期	7,707	5.4	1,673	23.5	1,681	23.3	1,549	73.8
2019年1月期第1四半期	7,309	12.0	1,354	△7.5	1,363	△7.6	891	△10.0

(注) 包括利益 2020年1月期第1四半期 1,548百万円(72.1%) 2019年1月期第1四半期 899百万円(△9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第1四半期	602.89	—
2019年1月期第1四半期	346.81	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第1四半期	28,586	23,422	81.6
2019年1月期	26,815	22,234	82.6

(参考) 自己資本 2020年1月期第1四半期 23,336百万円 2019年1月期 22,148百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	—	50.00	—	140.00	190.00
2020年1月期	—	—	—	—	—
2020年1月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
2019年1月期期末配当金の内訳 普通配当50円 特別配当90円

## 3. 2020年1月期の連結業績予想(2019年2月1日~2020年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,400	0.9	3,060	△0.1	3,080	6.8	2,440	34.1	949.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年1月期1Q	2,662,000株	2019年1月期	2,662,000株
② 期末自己株式数	2020年1月期1Q	91,407株	2019年1月期	91,314株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年1月期1Q	2,570,623株	2019年1月期1Q	2,571,434株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費の持ち直しや設備投資の増加等に伴い、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは各事業において業績の向上に努めました結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は77億7百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は16億7千3百万円（前年同期比23.5%増）、経常利益は16億8千1百万円（前年同期比23.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、『銀座スバルビル』売却による固定資産売却益を計上したこともあり、15億4千9百万円（前年同期比73.8%増）となりました。

以下、セグメント別の概況をご報告申し上げます。

## (道路関連事業)

道路関連事業は、公共投資が底堅く推移しましたが、慢性的な建設技能者不足や企業間における受注競争の激化等により、依然として予断を許さない状況が続きました。このような状況のなか、当社グループは、原価管理の徹底によるコストの削減や業務の効率化による収益の向上に努め、また関西地区において、昨年受注した災害復旧工事や橋梁補修工事が完工したこともあり、売上高は68億9千万円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は17億5千9百万円（前年同期比25.5%増）となりました。

## (レジャー事業)

『有楽町スバル座』における映画興行は、期中9作品を上映し「きばいやんせ！私」「愛がなんだ」等が好評を博し、売上高は前年同期を上回りました。

飲食事業は、業界全体としては緩やかな回復基調にあるものの、人件費の上昇や原材料価格の高止まり等により、依然として厳しい事業環境が続きました。このような状況のなか、飲食店では快適な店舗づくりに努め、物品販売では積極的な営業活動により炭酸飲料水等が好調に推移しましたが、店舗減少の影響もあり、売上高は前年同期並みとなりました。

マリナー事業は、『東京夢の島マリナー』『浦安マリナー』の両マリナーにおける年間契約の船舶係留数が高水準に推移したことに加え、船舶修繕業務等が好調に稼働したこともあり、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は6億6千4百万円（前年同期比1.7%増）となり、セグメント利益は飲食店舗開業費等の経費の減少により、3千2百万円（前年同期比227.8%増）となりました。

## (不動産事業)

不動産事業は、『吉祥寺スバルビル』や『新木場倉庫』等の賃貸物件が堅調に稼働し、売上高は1億5千1百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益は1億7百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金、土地の減少等がありましたが、現金及び預金の増加等により前連結会計年度末に比べ17億7千1百万円増の285億8千6百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少がありましたが、未払法人税等、賞与引当金の増加等により前連結会計年度末に比べ5億8千3百万円増の51億6千4百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ11億8千7百万円増の234億2千2百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年1月期通期の連結業績予想につきましては、2019年3月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,419,797	11,515,086
受取手形及び売掛金	5,195,817	3,322,550
商品	70,556	87,206
未成工事支出金	888,790	649,651
原材料及び貯蔵品	110,804	127,915
短期貸付金	1,200,000	1,200,000
その他	101,024	114,473
貸倒引当金	△52,029	△51,895
流動資産合計	14,934,761	16,964,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,560,110	2,667,367
機械装置及び運搬具（純額）	1,558,861	1,565,148
土地	4,745,096	4,382,908
その他（純額）	158,769	150,540
有形固定資産合計	9,022,838	8,765,966
無形固定資産		
のれん	627,761	609,298
その他	66,128	67,702
無形固定資産合計	693,890	677,000
投資その他の資産		
投資有価証券	299,610	298,299
繰延税金資産	135,735	180,350
差入保証金	850,740	858,031
保険積立金	742,307	706,736
その他	368,501	365,754
貸倒引当金	△233,094	△230,353
投資その他の資産合計	2,163,801	2,178,818
固定資産合計	11,880,530	11,621,785
資産合計	26,815,291	28,586,772

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,774,315	1,400,204
未払法人税等	554,699	807,085
賞与引当金	99,873	226,987
役員賞与引当金	28,760	—
資産除去債務	—	2,652
その他	1,034,916	1,622,791
流動負債合計	3,492,564	4,059,721
固定負債		
繰延税金負債	12,823	6,988
退職給付に係る負債	271,346	298,744
資産除去債務	261,954	259,759
その他	541,876	538,914
固定負債合計	1,088,001	1,104,406
負債合計	4,580,565	5,164,127
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,331,000	1,331,000
資本剰余金	1,273,811	1,273,811
利益剰余金	19,881,673	21,071,581
自己株式	△343,519	△344,074
株主資本合計	22,142,965	23,332,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,350	4,061
その他の包括利益累計額合計	5,350	4,061
非支配株主持分	86,410	86,264
純資産合計	22,234,726	23,422,645
負債純資産合計	26,815,291	28,586,772

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年2月1日 至2018年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年4月30日)
売上高	7,309,339	7,707,117
営業費用	5,509,819	5,535,832
売上総利益	1,799,520	2,171,285
一般管理費	445,062	497,911
営業利益	1,354,457	1,673,373
営業外収益		
固定資産売却益	2,683	2,433
受取利息	396	435
受取保険金	—	2,533
その他	6,314	5,008
営業外収益合計	9,394	10,410
営業外費用		
その他	171	2,340
営業外費用合計	171	2,340
経常利益	1,363,681	1,681,444
特別利益		
保険解約返戻金	637	532
固定資産売却益	—	609,751
特別利益合計	637	610,284
特別損失		
固定資産売却損	—	18,073
特別損失合計	—	18,073
税金等調整前四半期純利益	1,364,318	2,273,654
法人税、住民税及び事業税	496,622	774,257
法人税等調整額	△34,513	△50,419
法人税等合計	462,108	723,837
四半期純利益	902,209	1,549,816
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,400	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	891,809	1,549,803

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年2月1日 至2018年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年4月30日)
四半期純利益	902,209	1,549,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,467	△1,288
その他の包括利益合計	△2,467	△1,288
四半期包括利益	899,742	1,548,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	889,342	1,548,515
非支配株主に係る四半期包括利益	10,400	12

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年2月1日 至 2018年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	道路関連事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	6,504,462	653,421	151,456	7,309,339	—	7,309,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	174,895	20,355	195,250	△195,250	—
計	6,504,462	828,316	171,811	7,504,590	△195,250	7,309,339
セグメント利益	1,401,836	9,936	103,134	1,514,907	△160,449	1,354,457

(注) 1 セグメント利益の調整額△160,449千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	道路関連事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	6,890,686	664,521	151,910	7,707,117	—	7,707,117
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	176,473	20,557	197,031	△197,031	—
計	6,890,686	840,995	172,467	7,904,149	△197,031	7,707,117
セグメント利益	1,759,878	32,573	107,476	1,899,927	△226,553	1,673,373

(注) 1 セグメント利益の調整額△226,553千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。